

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2021年5月10日

つくし野学園 聖母幼稚園

1、園の教育目標

聖母幼稚園は、神様のあたたかい愛に包まれて、一人ひとりが大切にされ、命を尊び「生きる」喜びにあふれた家庭的な幼稚園です。

子どもたちは、落ち着いた雰囲気の中で自分らしくのびのびと活動し、自然や他者とのかかわりを通して、豊かな心を養い、心身ともに強くたくましく成長していきます。安心して生活できる明るい社会のために、家庭・地域と連携し、お互いに支え見守りながら、未来に向かって共に歩んでいきます。

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・ 家庭的雰囲気をさらに深め、職員、子ども、保護者との信頼関係を築き深める。
- ・ 宗教的な環境を整え、安心して生活する。
- ・ 子どもが自立し落ち着いて行動できるようになる。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取組状況
幼児教育基本方針と組織	B	教育の基本方針の見直しの機会を持ち、毎朝ビジョン・ミッションを確認することで理解が深まり、意識できるようになっている。 教諭としての適切な言葉や態度・行動ができるよう意識をもって勤務する。
保育内容指導計画	A	毎月の学年会議を通して年間指導計画に加筆、訂正を行い、個々の状態に即した内容にできるように努める。 具体的な実施計画として、長期・短期の指導計画を作成する。教諭は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、日案の作成に反映させるようにする。 各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合い、共通意識が持てるようにする。
保育内容実務の確認	C	コロナ感染症の影響で4,5月の保育が十分にできなかったことで、保育の基本的な姿勢や信頼関係を築くことに難しさを感じる場面が多くあった。 モッテッソーリ教育の充実を図り環境を整え、幼児の興味・関心・成長に合わせた主体的な活動ができるよう配慮する。 異年齢児のかかわりの中で、友達と協力し思いやりや助け合いを持てるようになり、安心した家族的雰囲気をつくる。

研修と研究	B	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議・園内研修等において提供し共有する。 よりよい教諭を目指すために、全体での反省・評価・分かち合いの機会を持つ。
子育て支援	A	未就園児クラス・教室園庭開放で園を利用していただき、子育ての情報提供、保護者との連携を持ち、入園につながるよう勧める。 保護者の子育て不安、育児への相談を受け、個別に対応する。
保護者対応	B	少人数保育の利点が活かされ、降園時・個人面談など直接保護者と話す機会を持ち意識して対応する。

4、 学校評価の総合的な評価結果

結果	理由
B	感染症の影響で特別な一年となり、十分な活動が出来なかったが、その中で、一人一人に寄り添うことが求められた。これからは、一人ひとりの育ちに十分配慮し、家庭と連携し、よりよい教育が求められる。 自らの教育・保育を振り返り、実践できるように努力するとともに、チームで取り組む幼児理解の具体的な園内研修を実施し、さらなる質の向上が必要である。

5、 今後取り組む課題

保育の充実	教育の質向上を目指し、幼児の育ちを語り合う機会を持つようにする。 音楽・英語・体操指導の充実を図り、子どもの発達や個性をふまえ、育ちにより良いものを提供する。
保護者支援	家庭・地域と連携し、子育て支援のあり方を模索していく。
安全管理	園庭や室内の安全な環境を整え、「ヒヤリハット」等の共有ができるようにする。 危機管理マニュアルを見直し、よりよいものに改善する機会を持ち、役割の意識向上を図る。

6、 学校関係者評価委員会の評価

<p>園自己評価は適切に行われ、取り組み課題が適切に設定されている。</p> <p>新型コロナの影響により、例年通り行えていない状況の中、改めて保育を見直したこの一年の経験を活かし、保護者アンケートなどをふまえ、園の教育・運営を改善していく取り組みと、家庭地域との連携を深めていくことに期待する。</p>
--